

思ひついたこと

——決戦下幼児の藝能教育について——

金丸光

のんびりと歌つたり、踊つたりしてゐる時代でもないではないか、といふことは若しも唱歌や遊戯といふものを輕しめるためにいはれるものであつたとしたら、私たちは、その因つて來るところを、深く考へねばならない。

手先のこまかな器用さをねらひ、指先の末梢的な動きを目的とした手技に對しても、ある人たちは冷たい批判を下してゐる。過去における幼児の藝能教育の低調と墮落、それが斯うした過つた見解を世に與へてゐることを思ふとき、それを救ふ道はたゞひとつしかない。それは、過去の藝能教育を、如何に決戰的に、重點的に切りかへるかといふことである。

古い自由主義時代の保育材を、そのまゝ子供たちにあたへてゐるはしないか。唱歌遊

戯についていへば、曲も歌詞も、決戦下の幼児として、これは必ず與へねばならないといふ、眞に保育者が熱情を以て與へ得るものを採つてゐるかどうか、むしろ、皇國民としての幼児を毒するやうなものを與へてゐるはしないか。そこに想ひを致すとき、私たちは、過去の保育材の多くを、今こそ勇敢に破棄し、新しい保育材と置き變ふべきである。次代の戰士たちのために、與へずにはゐられないといふものを重點的に與へてゆくべきである。その場合に尙且、藝能教育を輕しめるものがあつたとしたら、その迷蒙をわらふべきであらう。

併し、決戰的なものといつても、それはなにも、武はつたものゝみを與へよといふのではない。食ふか、食はれるか、たゞ一すちに一劍を磨くことに、その國の運命を

かけてゐた戰國争亂の時代にあつて、何故にあの有閑的な茶道、生花道が武將の間に用ひられたか。決戰的なものを與へるといふのは、なにも、兵隊ごつこの遊びばかりを遊ばせ、戦車の繪ばかりかゝせ、戦争の歌ばかり歌はせることではない。靜なるものを與へることが、やがて濺測たる動への準備であるとき、それはまさしく、決戰的な、必要缺くべからざるものなのである。手技も音楽も、戦力増強への大いなる使命をもつ。

生産力擴充へ最も密接につながる手技教育である。又、音楽をはなれての生産力増強は難い。勞働には音楽リズムが最も必要であるとされる。古來からの田植歌、樵夫の木挽歌などが、それを單的に證明する。

決戦下多くの資材は乏しくなつてゆくが、しかし、乏しきに耐へる堅い志操は、かうした霧雪の時代にこそはぐくまれる。一枚の色紙にも、一本のヒヨ竹にも、深い感謝と、物を大切にす美徳を養ふ機會もあたへられるのである。

隠更にいひたいことは、乏しきに耐へるといふ消極的な構へから、更にすゝんで、工

夫し、利用厚生之道を講ずることである。

過去の甘い教育は、一枚の色紙を與へるにも、四角に切つたり、三角に切つたり、五角に切つたりして、直ちに折りたゞめるばかりになつたものをあたへ、そこに何等工夫し、努力する餘地をもあたへなかつた。ひどいになると、のりをつける場所まで保姆がしるしをつけておくといつた手技教育の在り方であつた。保姆はお坊ちやんにオーパーを着せ、その上ボタンをつけてやる女中のやうに、こまかな點にまで甘い助力をあたへてやり、それを以て、親切な保姆であり、ゆきどよいた保育であると誤り信じてゐた。子供が、工夫し、失敗し、苦しみをなめて始めて仕事を完成する努力の餘地がないほど手を加へたものを與へ、結局そのために子供たちを損つてゐたのである。だが、かういつたからとて、それは程度問題で、なにも、嘴のやはらかいひなごりに、石ころのやうにかたい、かみくだけさうにもないものを與へよ、といふのではない。

戦時下、ピアノは勿論、オルガンも乏しく、アコーデオンさへなか／＼手に入らない現状では、村々に開かれる季節保育所で

も、保姆は自分の口をオルガンに代へ、自分の指をタクト棒に變へて、子供を樂園に導かねばならない。

だが、悲しんではいけない。老いての後まで、人の胸に美しい旋律となつてよみがへつてくる母の子守歌は、オルガンやピアノを伴奏としてはゐなかつた。だが、なに一つ、樂器の助けをかりなくとも、母の限りなき愛情は、最上の魂の糧となつてゐるのである。

大東亞共同宣言の五原則

十一月五日、大東亞新秩序建設の大方策を議定する大東亞會議開催せられ、六日その共同宣言が發表せられた。分りきつてゐるやうなもの、尙ほ熟讀玩味して我が高遠なる理想をしっかりと把握し度いと思ふ。(編輯部)

大東亞共同宣言 抑、世界各國が各その所を得相倚り相扶けて萬邦共榮の樂を偕にするは世界平和確立の根本要諦なり然るに米英は自國の繁榮のためには他國家他民族を抑壓し特に大東亞に對しは飽くなき侵略擄取を行ひ大東亞隸屬化の野望を逞うし遂には大東亞の安定を根柢より覆さんみせり大東亞戰爭の原因茲に存す

大東亞各國は相提携して大東亞戰爭を完遂し大東亞を米英の桎梏より解放してその自存自衛を全うし左の要綱に基き大東亞を建設し以て世界平和の確立に寄與せんことを期す

一、大東亞各國は協同して大東亞の安定を確保し道義に基く共存共榮の秩序を建設す

一、大東亞各國は相互に自主獨立を尊重し互助敦睦の實を擧げ大東亞の親和を確立す

一、大東亞各國は相互に其の傳統を尊重し各民族の創造性を伸揚し大東亞の文化を昂揚す

一、大東亞各國は互惠の下緊密に提携し其の經濟發展を圖り大東亞の繁榮を増進す

一、大東亞各國は萬邦との交誼を篤うし人種的差別を撤廢し普く文化を交流し進んで資源を開放し以て世界の進運に貢獻す